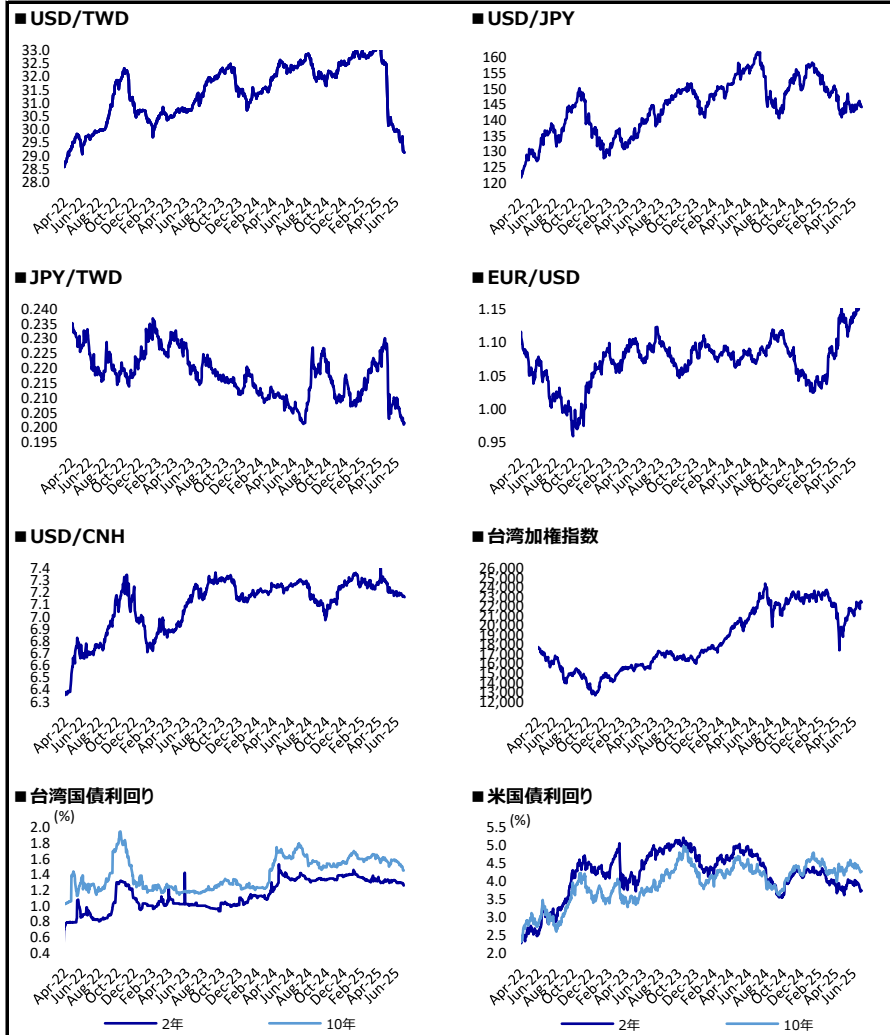


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは下落。週初6/23は29.570でオープン後、中東情勢の悪化を受け、リスク回避のドル買いが先行し、輸出企業の換金売りも散見されたものの、影響は限定的。29.734まで週間高値でクローズ。6/24、中東情勢の改善を受け、リスク資産の上昇に伴い台湾ドルも買われ、ドルは一時29.508まで下落。6/25は、地政学リスクの後退で台湾株の続伸に伴い、一時29.352、3年ぶりの台湾ドル高値を更新。6/26は、半導体関連企業を中心に、世界的な株高を受け、資金の流入に加え、輸出企業の換金売りも入り、29.165でクローズ。6/27、海外市場ではドル売りが優勢となったことに加え、台湾株における外資の買いも強まり、29.00を割り込み、一時28.904まで大きく売られた。最終的には前週比1.18%ドル安台湾ドル高の29.180で先週の取引を終了。週間外国人投資家の株式買い越し額は1,172.0億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は上昇。週初6/23は146.03でオープン後、週明けの原油価格の高騰を受け、貿易収支の悪化が懸念され、ドル買い優勢の展開となり、一時148円まで上昇したが、中東情勢の更なる悪化が回避されたことに加え、米金利の低下でドルの上昇幅が縮小。6/24は、イスラエルとイランの停戦合意を受け、原油価格の大幅下落とともにドルの売り圧力が強まり、一時144円台半ば付近まで低下。6/25は、一時146円前後まで買われたが、ドルは対欧州通貨を中心に下落している中、145円台前半まで反落。6/26は、FRB議長の人事前倒しとの報道が流れ、ハト派化への懸念で広範なドル売りが進み、一時144円を割り込んで低下した後、144円台半ば付近で推移。6/27は、特段新しい材料がない中、ドル/円が144円台半ば付近でレンジ相場となった。最終的には前週比0.96%ドル安円高の144.65で先週の取引を終了。

■ USD/TWD 予想レンジ：28.800-29.300
今週のドル/台湾ドルは引き続き上値重い展開を予想。先週後半にドル/台湾ドルは大幅下落し、一時29.00を割り込み。基本的にドル安台湾ドル高傾向と思われるが、米重要指標発表を控え、なお中銀の相場調整も考えると、ドル売り優勢となるものやや収めるか。

■ USD/JPY 予想レンジ：142.00-147.00
今週のドル/円はレンジ推移となる予想。今週のFRB高官の発言や米重要指標発表等を予定されるも、方向感のづらい環境は変わらないと想定され、引続きもみ合い推移か。

今週の予定

| | |
|------------|----------------------------------|
| 6/30 (MON) | 中国6月製造業PMI・非製造業PMI |
| 7/1 (TUE) | 台湾6月PMI指数、6月調査日銀短観、米6月ISM製造業景況指数 |
| 7/2 (WED) | 米6月ADP雇用統計 |
| 7/3 (THU) | 米6月雇用統計、米6月ISM非製造業景況指数 |
| 7/4 (FRI) | 米国市場休場 |

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。